



AVENUE

医療法人社団北海道恵愛会の基本理念

- 専門性と質の高い医療を通じ、地域の発展に寄与する

札幌南三条病院の基本理念

- 患者さんにとって最もよい医療を提供する

札幌南三条病院の基本方針

- 呼吸器疾患、特に肺がんの診療及び臨床研究を中心とした医療を行うとともに、PETも利用した早期がんの発見や人間ドックによる健康管理を行う

発行/医療法人社団北海道恵愛会 札幌南三条病院 〒060-0063/札幌市中央区南3条西6丁目
TEL 011-233-3711(代表)FAX 011-233-1415 URL <http://www.h-keiaikai.or.jp/minamisanjo/>

札幌南三条病院 無料講演会 『PET検査の上手な使い方』

検診・がん診療の両面から

平成22年5月29日(土曜日)、当院8階講堂で無料講演会を開催しました。

医療機関では様々な最新機器による検査が行われますが、受診者は検査で何を知るのでしょくか?当院の放射線科の石橋哲哉医師が、様々な事例をあげながら、知っておくと役に立つ、「PETの基礎知識」「PET検査の受け方」「PET検査報告書の読み方」から「医師とのコミュニケーション」まで幅広く講演しました。



放射線科医師
石橋 哲哉

診断と治療には「情報」収集が重要

PET検査は、悪性腫瘍に特化した情報収集ツール(道具)の1つです。

PET検査をはじめとする様々な検査の情報が多いほど、診断や治療に役立ちます。

PETの特徴

CTやMRIなどは「形を見る検査」ですが、PETでは形が同じでも性質が違う病変を区別できる「機能を見る検査」なので、形だけでは判断が難しい病変も発見が可能です。全身を撮影できるので、病変の広がり方を見るのに役立ちます。

PETでは病気の発見が難しいこともあります。非常に小さい腫瘍や低密度の腫瘍、部位(脳や膀胱、腎臓など)によっては見つけられないところもあります。

他の検査(CT、MRI、超音波、生化学、内視鏡など)を併用することで、互いの弱点を補うことができます。

検査報告書が出たら受診しましょう

異常または疑いがある場合、報告書に疑問がある場合も、絶対に放置しないで受診し、医師に相談してください。検診の情報を生かして、早期治療に役立ててください。

私たち医師やスタッフは、患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。小さな疑問や不安もご相談ください。一緒に治療に取り組んでいきましょう。



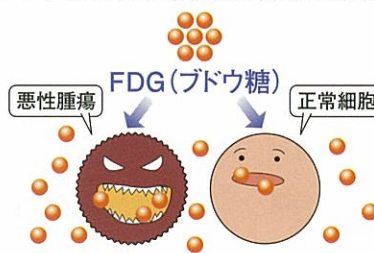
PET検査とは(PET:Positron Emission Tomography/陽電子放射断層撮影装置)

悪性腫瘍の多くは正常な細胞より多量のブドウ糖を摂取する性質があります。

PETはその性質を利用した検査です。



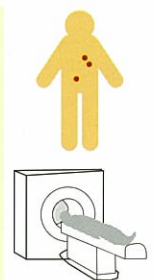
ブドウ糖に近い成分の検査薬(FDG)を体内に注入し全身に行き渡らせます。



FDGが細胞に集まり、FDGから放出される放射線をPET装置で撮影します。

悪性腫瘍とは?

遺伝子の異常で、分裂や増殖にブレーキがかからなくなった組織が「腫瘍」です。その中で、腫瘍の外にまで直接悪影響を与えるタイプ(浸潤、転移)を「悪性腫瘍」と呼びます。



特に集まりが多いところは、悪性腫瘍の疑いがあります。

※2~3ページでPET特集を、4ページでは放射線部をご紹介しますのでご覧ください。